

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ドデカン二酸
製品コード	FI-B11-0012
供給者の会社名称	宇部興産株式会社
住所	東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
担当部門	ナイロン・ファイン事業部 ファイン・工業薬品営業部
電話番号	03-5419-6175
FAX番号	03-5419-6255

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	自然発火性固体 区分に該当しない
健康有害性	急性毒性（経口） 区分に該当しない 急性毒性（経皮） 区分に該当しない 皮膚腐食性／刺激性 区分に該当しない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2 皮膚感作性 区分に該当しない 生殖毒性 区分に該当しない
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性） 区分に該当しない 水生環境有害性 長期（慢性） 区分に該当しない 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しない（分類対象外）か分類できない。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き
予防策

警告
H319 強い眼刺激

対応

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)
粉じん爆発を起こす可能性がある。

他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	1, 12-ドデカン二酸

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
ドデカン二酸	99.0%以上	HOOC(CH ₂) ₁₀ CO OH	(2)-878	4-(4)-1218	693-23-2

4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸困難、呼吸停止を起こしている場合は、酸素吸入や人工呼吸を行なう。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、乾燥砂、粉末、炭酸ガス消火器が有効である。
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	火災時に一酸化炭素、二酸化炭素等が発生する。
特有の消火方法	着火直後の場合は、多量の噴霧水で温度を下げるようにして消火する。 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、防火用の保護眼鏡、保護手袋、有機ガス用防毒マスク等を着用し、風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	粉塵を吸入しないよう防塵マスクを着用する。 必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさない様に注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 粉塵がたたないようにし、出来る限り回収する。 漏洩物を回収した後、漏洩区域を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	比較的安全な物質ではあるが、保護眼鏡、保護手袋（ゴム製）、防塵マスクを着用し、粉塵を吸わない、眼に入れない、皮膚につけない、などの注意をする。 粉塵をたてないようにする。 粉塵爆発の恐れがある為、電気設備は防爆構造とする。 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 強酸化剤、還元剤との接触を避ける。
安全取扱注意事項	
保管	
安全な保管条件	密閉容器に入れ、乾燥した冷暗所に保管する。 長期間保管しても分解、劣化は認められないが、高温多湿の場所及び直射日光の当たる場所は避ける。
安全な容器包装材料	クラフト紙袋、ポリ袋、フレキシブルコンテナ

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ドデカン二酸	未設定	日本産業衛生学会（2016年版）第3種粉塵 2mg/m ³ （吸入性粉塵）（TWA） 8mg/m ³ （総粉塵）（TWA）	ACGIH（2016年版）一般粉塵 3mg/m ³ （吸入性粉塵）（TWA） 10mg/m ³ （総粉塵）（TWA）

設備対策	密閉された装置、機器、又は局所排気装置の設置が好ましい。 作業所の近くに洗眼、手洗い、洗身設備を設け、見やすい箇所に表示す
------	------------------------------------------------------------------

る。

保護具

呼吸用保護具	N I O S H / M S H A 認可呼吸器
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護長靴等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	固体 (フレーク)
色	白色
臭い	わずかな臭気
融点/凝固点	128 °C
沸点又は初留点及び沸点範囲	250 °C (10 mmHg)
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	
下限	40~45 g/m ³
引火点	220 °C (Closed cup)
自然発火点	390 °C
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水：難溶 30 mg/L (23 °C)
n-オクタノール/水分分配係数	log Pow=3.07
蒸気圧	21.0 mmHg (222 °C)
密度及び/又は相対密度	1.16
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	比較的安定した性質を有している。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	熱、炎、スパーク及び他の発火源
混触危険物質	強酸化剤、還元剤との接触。
危険有害な分解生成物	燃焼させると有毒な一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットLD ₅₀ : >3000mg/kg
経皮	ウサギLD ₅₀ : >6000mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いた試験では刺激性はないと報告されている。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	ウサギを用いた試験で、わずかな刺激性 (Irritation Index:11.96/110) の記載、結膜発赤の平均スコアが2.5 (≥2) であり、7日間の期間内に完全に可逆的であったという記載がある。
呼吸器感受性	動物試験で皮膚感受性はないと報告されている。
皮膚感受性	動物試験で皮膚感受性はないと報告されている。
生殖細胞変異原性	Ames試験：陰性 小核試験：陰性
発がん性	データなし。
生殖毒性	ラット生殖/発生毒性 NOEL : 1000mg/kg
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	急性経皮毒性試験において下痢や鼻汁が報告されている。 急性経口毒性試験では特定臓器への影響は報告されていない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	ラット反復投与毒性試験では5000mg/kg、2週間の投与で臓器に対する影

露) 響は認められていない。
 ラット生殖/繁殖毒性試験では、仔に対し白血球数のわずかな減少が報告されている。

誤えん有害性 データなし

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性) 魚類 96h-LC50=200mg/L
 甲殻類 (ミジンコ) 48h-EC50=220mg/L
 藻類 72h-EC50=150mg/L

水生環境有害性 長期 (慢性) (分解性) 好気性生分解性 71%/20日 (易分解性)

生態毒性 データなし

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

土壤中の移動性 データなし

オゾン層への有害性 データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 直接もしくは燃えやすい溶剤で溶解するか、又は混合してアフターバーナーとスクラバーを備えた焼却炉で燃やす。
 処理能力のある公認された産業廃棄物処理業者に依頼する。

汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 該当しない
 Marine Pollutant Not applicable
 Liquid Substance Not applicable
 Transported in Bulk
 According to MARPOL
 73/78, Annex II, the IBC
 Code

航空規制情報 該当しない

国内規制

陸上規制 該当しない
 海上規制情報 該当しない
 海洋汚染物質 非該当
 MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 非該当

航空規制情報 該当しない

特別の安全対策 粉塵のたたない方法で輸送する。破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。湿気、水漏れに注意する。

緊急時応急措置指針番号 171

1 5. 適用法令

労働安全衛生法 非該当
 毒物及び劇物取締法 非該当
 化学物質排出把握管理促進法 (非該当
 P R T R法)

1 6. その他の情報

連絡先 品質保証部 化学品品質保証グループ
 電話番号 : 0836-31-2085
 FAX番号 : 0836-31-3165

参考文献 情報なし

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常を取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。